

2. 独立行政法人「宇宙航空研究開発機構」(JAXA) 保有技術の技術移転に関する業務委託を締結

平成 19 年 11 月 9 日に九州共立大学総合研究所は「宇宙航空研究開発機構」(JAXA・ジャクサ)と JAXA が保有する技術の技術移転コーディネーターとしての業務委託を締結しました。業務委託締結によって九州共立大学総合研究所は中小企業等に対し JAXA 技術の売り込みを行うことができるようになりました。

これは総合研究所が JAXA より保有技術（特許及び特許に関する情報）の開示を受けて、「コーディネーター」として技術移転先を発掘し、技術移転の条件交渉までを行い、JAXA と技術移転先とが技術移転契約を締結するまでの支援を行うものです。これにより、今後、総合研究所が地元・地域企業等へ積極的に技術支援する役割を担うことができます。なお、「宇宙航空研究開発機構」(JAXA) と JAXA 保有技術の技術移転に関する業務委託(コーディネーター役)を締結した大学は、現在のところ西日本地域で本学総合研究所だけです。

3. 「エコテクノ 2007」と「第7回 産学連携フェア」に出展

平成 19 年 10 月 17 日（水）～19 日（金）に西日本総合展示場で開催された「エコテクノ 2007」に出展し、さらに、平成 19 年 10 月 31 日（水）～11 月 2 日（金）に北九州学術研究都市（北九州市若松区ひびきの）で開催された「第7回 産学連携フェア」に九州共立大学総合研究所が出展しました。九州共立大学総合研究所はブースを設け、研究成果を展示いたしました。展示されたテーマと先生は以下の通りです。

	テ ィ ャ	展示者
1	大学紹介：現代 GP に選定される	生田，菅田
2	実践的教育の事例：2 足歩行ロボットによるモノづくり教育	水井
3	リサイクルの取り組み：産官学共同研究実践例 廃タイヤの再利用	高山
4	リサイクルの取り組み：産官学共同研究実践例 廃ガラスの再利用	亀田
5	地域における環境問題への取り組み：行政への提案 遠賀川水辺環境の経済評価	二宮
6	地域における環境問題への取り組み：行政への提案 CCb o x の効果	三原
7	次世代環境技術の開発：福岡 I S T に採択 環境負荷の少ない次世代の透明電極膜の開発	生地
8	次世代環境技術の開発：福岡 I S T に採択 高効率の薄膜光触媒の開発	能智

4. 「第12回 ROBO-ONE」に出場し、「ロボコンマガジン賞」を受賞

学生が興味を持つモノを使った実践的「モノづくり」教育として、ロボットを用いた活動を行っている工学部メカエレクトロニクス学科の水井雅彦助手と学生は平成 19 年 9 月 15、16 日に開催された第 12 回 ROBO-ONE 高松大会へ出場しました。九州共立大学は、ロボット名「KKU-Genex」で出場し 33 位、「九共大-ZERO」で出場し 56 位 でした。大会の予選本番ではトラブルが発生し、4 大会連続の決勝進出を逃しましたが、「この子（ロボット）はできる子です！」と懸命にロボットをアピールした姿勢により協賛企業賞「ロボコンマガジン賞」を受賞いたしました。

5. 「第27回 HONDA エコノパワー燃費競技全国大会」に出場

平成 19 年 10 月 6、7 日に開催された「第 27 回 HONDA エコノパワー燃費競技全国大会」に工学部メカエレクトロニクス学科の川嶋竜之介助手と学生が出場しました。本学ではモノづくり教育の一環として、「1 リットルのガソリンでどこまで走れるか？」をテーマにした「HONDA エコノパワー燃費競技大会」に平成 17 年度より参

戦しています。本大会は、中学生から社会人チームまで約 530 チームが参加し、国内では最大規模のエコラン大会です。九州共立大学チームは、グループ 3（大学・短大・高専・専門学校クラス）に参加し 118 チーム中 73 位（公式燃費記録 118.1km/L）という成績を収めることができました。また、10 月 20、21 日に開催された北九州エコライフステージ 2007 では、多くの市民の方々にエコラン活動について議論を交わすとともに、本学の宣伝を行ってきました。なお、エコラン大会およびエコライフステージの様子は、毎日新聞折り込み紙（12 月及び 2 月予定）の「今どきの学生さん」コーナーに本学学生の手記を掲載予定。

6. 「第 4 回 九州共立大学発ビジネスプランコンテスト」が開催されました

平成 19 年 11 月 4 日（日）午前 10 時から第 4 回九州共立大学発ビジネスプランコンテストを開催いたしました。九州共立大学総合研究所では将来起業家を志す学内外の生徒や学生（高校生、大学生、大学院生）を対象に、新規性のあるビジネスアイデアを募集し、ビジネスプランの発表の場を提供しています。これを機会に、学生に企業家精神を醸成し、大学発ベンチャー企業を生み出す機運を盛り上げることを目的としています。

93 名の応募に対して書類審査等を経て、「新規性」、「創造性」、「実現性」、「計画性」、「収益性」、「成長性」等に優れている者 10 名を選び、発表会を開催いたしました。審査の結果、以下の方が入賞されました。なお、1 位、2 位、3 位に東京ベンチャー留学参加費、その他 7 名にクオカードを授与いたしました。

第 1 位： 池田 裕子 （過疎地域の宅配サービス）

第 2 位： 小野寺 京介（運動天才塾）

第 3 位： 森田 好幸 （携帯電話をより活用するための DVD）

また、小野寺京介君は 12 月 13 日に開催された福岡のニュービジネス協議会主催のビジネスプランコンテストに参加し、最優秀賞を受賞いたしました。

7. 「第 21 期東京ベンチャー留学」へ参加しました

平成 19 年 12 月 1 月から 12 月 3 日に開催された「第 21 期東京ベンチャー留学」に本学から 8 名（うち 1 名はスタッフ）が参加しました。この「東京ベンチャー留学」は平成 19 年 11 月 4 日（日）に開催された「第 4 回九州共立大学発ビジネスプランコンテスト」の上位 3 名を参加させるもので、今回は総勢 10 名が参加いたしました。この「東京ベンチャー留学」には第 19 期から 3 期連続で参加しています。なお、「東京ベンチャー留学」の参加者は、今回よりインターンシップの単位認定（2 単位）が可能になりました。次回は平成 20 年 2 月 20 日～12 月 22 日に第 22 期が開催されます。